



食品安全のためのリスク分析 (食品のリスクとのつきあい方)

内閣府 食品安全委員会事務局
日野 明寛

2008.1.18 (於 横浜市)

目次

- ◆ 食品安全委員会を知っていますか
- ◆ 食の安全とリスク
- ◆ リスク評価とリスクコミュニケーション
- ◆ リスクとつきあうには?





委員長の見上です。
よろしくお願ひします。

<http://www.fsc.go.jp/>

食品安全委員会
Food Safety Commission

国民の健康と安全のために。
食品安全委員会は、国民の健康の保護が第一の目的で設置された組織です。国民の健康を保証することによる国民への影響を防ぐこと、科学的根拠に基づき審査的かつ中立公正に評議を行つて議論です。

最新情報
新着情報

【食品安全委員会を知っていますか?】

○日野 明寛(内閣府) おかけさまでおもてなしで幹事長就任されました。ありがとうございます。
○これまでの取り組みは、厚生労働省について
○これまでの取り組みは、農林水産省について
○食品安全委員会に関する議論について

2007/08/10
【食品安全委員会に関する地域活性化協議会(石川)】(内閣府)令和2年8月10日
【食品安全委員会に関する地域活性化協議会(山口)】(内閣府)令和2年8月10日
【食品安全委員会に関する地域活性化協議会(沖縄)】(内閣府)令和2年8月10日

2007/08/09
【食品安全委員会に関するワクチーフカブ(CAV-PAC)】(内閣府)令和2年8月9日
【食品安全委員会に関する議論について】(内閣府)令和2年8月9日

食品安全委員会

食品安全委員会を知っていますか?

厚生労働省か
農林水産省の機関?



「どうなったか、何が发生了嗎？」
「何が发生了嗎？」
「何が发生了嗎？」



内閣府 とは?
内閣の重要政策に関する企画立案
及び省庁間の総合調整などを行う
総理大臣を長とする機関です。



いいえ、独立した機関で、
平成15年7月に内閣府に設
置されました。

食品安全委員会を知っていますか？

何故できたの？

食べ物のはどこからくるの？

世界の主要な輸入元

国	割合(%)
中国	40.4(3.3)
印度	17.7(1.4)
米国	13.6(1.0)
韓国	1.0(0.1)
台湾	0.9(0.1)
香港	0.8(0.1)
小国	日本1.1%
アメリカ	0.4(0.1)
オーストラリア	0.3(0.1)
カナダ	0.2(0.1)
南アフリカ	0.1(0.0)
メキシコ	0.1(0.0)
マレーシア	0.1(0.0)
スリランカ	0.1(0.0)
新規開拓地	0.1(0.0)
輸入品種別	日本1.1%

(財)企画情報サービスセンター HPより

例えば、

- 食生活の多様化
- 新しい技術の利用
(組換えDNA技術など)
- 新しい感染症が現れる
(O157, BSE等)

BSEなどの問題から、
新しい食品安全のため
の考え方方が必要になつ
たからです

食品安全委員会を知っていますか？

たまにしか開かない
いわゆる審議会で
しょ？

毎週木曜日に公開で行って
います
【だれでも傍聴できます】

食品安全委員会の構成

食品安全委員会は7人の委員から構成されています。

14専門調査会

- 企画
- 緊急時対応
- リスクコミュニケーション

食品安全委員会委員
7名

化学物質系グループ: 農薬、添加物など

生物系グループ: 微生物・ウイルスなど

新食品グループ: 遺伝子組換えなど

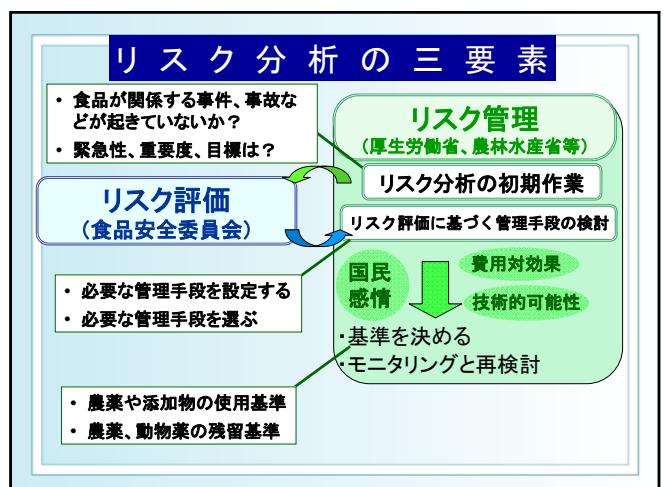
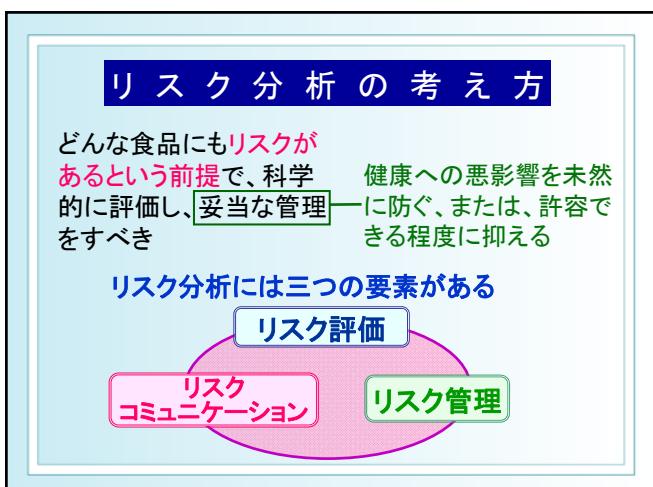
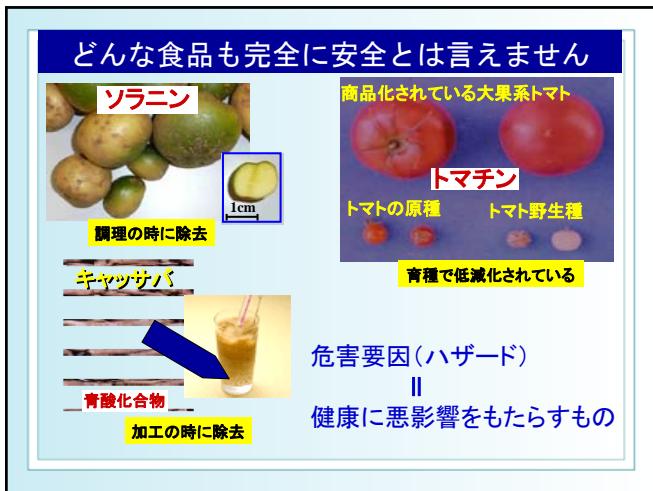
専門委員: 203名

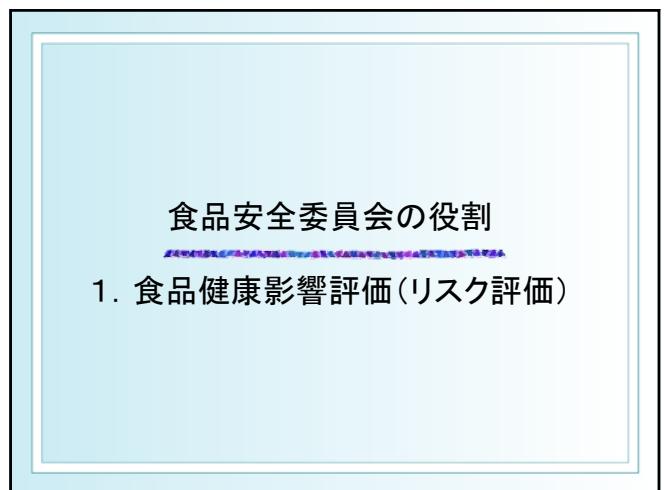
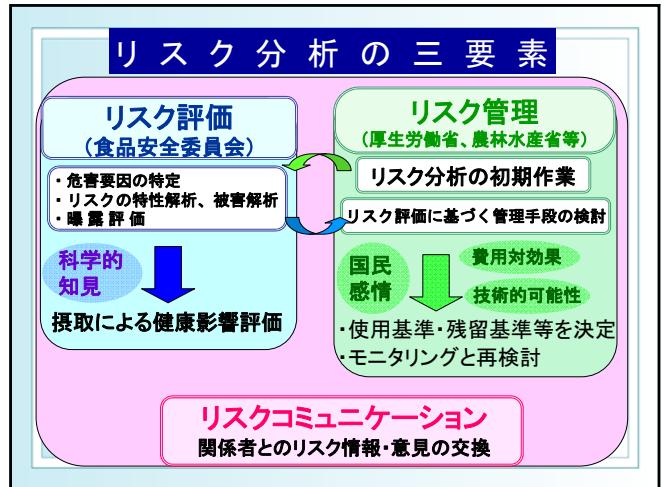
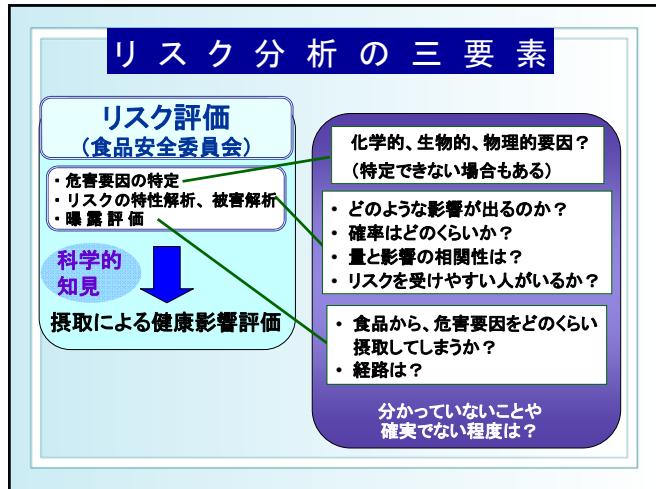
事務局(職員57名、技術参与33名) 平成19年10月現在

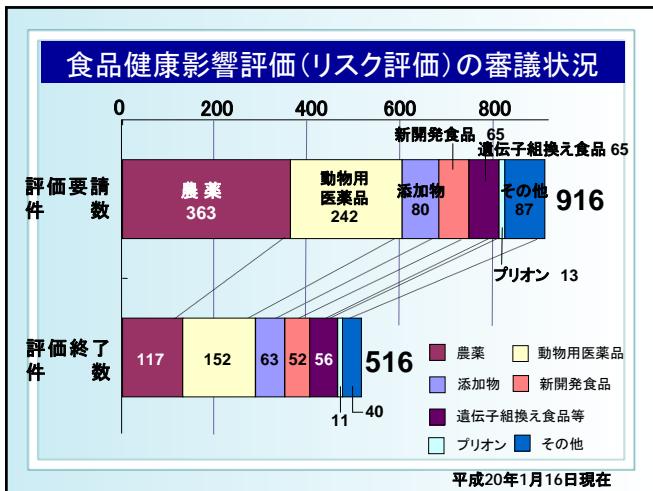


食の安全とリスク

リスク分析というアプローチ

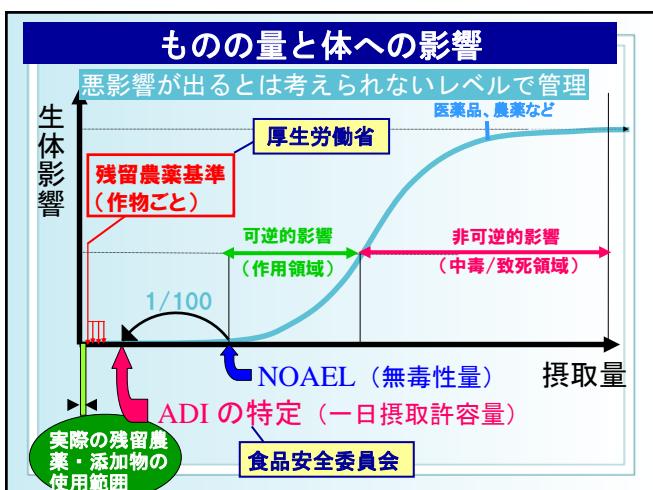






リスク評価はどのように行われるのか (化学物質の場合)

- 危害要因は何か
- 動物実験から有害作用を知る
- 動物実験等から最大無毒性量を推定する
- 安全係数(不確実係数)を決める
- ADI(一日摂取許容量=ヒトが一生涯、毎日摂取しても有害作用を示さない量)を設定する
- パクロ
• どの位摂取しているのか(曝露評価)



天然由来の添加物は安全???

「**天然由来の方**」
“全ての物質は毒であり、薬である。量が毒か薬かを区別する”



るから、天然由来ではない

例え、医薬品

適量を守れば “良薬”

適量を過ぎれば “毒薬”

大事なことは毒性の限界値の見きわめ！

食品の安全性に関する副読本の例

[共通してみられる説明]

加工食品の選び方

- ①賞味(消費)期限を確かめる
- ②食品添加物の少ないもの
- ③品質表示や認証マークのあるもの
- ④容器・包装の破れていないもの

[中には、、、]

- ・万病のもとといわれる活性酸素の体内発生と添加物との関係が注目されている
- ・キレる子どもの増大とリン酸塩やタル系色素などの添加物の関係が注目されている

無毒性量を決めるための動物実験等

- ◆ 急性毒性試験
- ◆ 反復投与毒性試験（亜急性、慢性）
- ◆ 遺伝毒性試験（変異原性試験）
- ◆ 癌がん性試験
- ◆ 繁殖毒性試験
- ◆ 催奇形性試験
- ◆ 体内運命試験

農 薬

- ・農作物の収穫・品質を維持するために使う“くすり”
- ・国内で使うには厳しい審査を受け、“登録”されていることが条件
- ・食品中に残っても健康に悪影響のない量“残留基準値”が定められている

病害虫防除に利用する薬剤

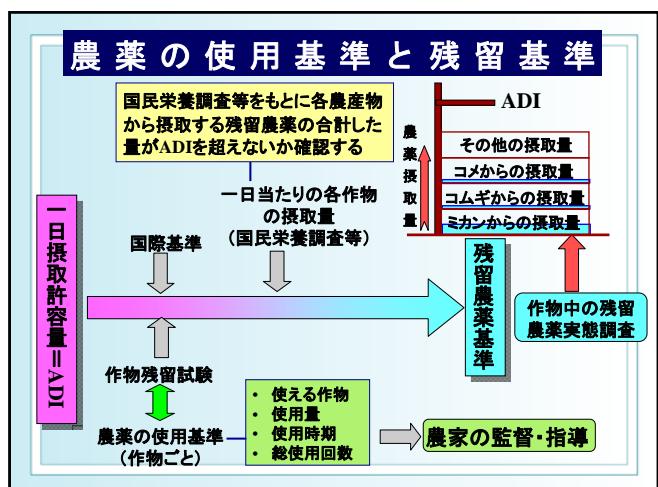
- ・殺虫剤
- ・殺菌剤
- ・除草剤 など

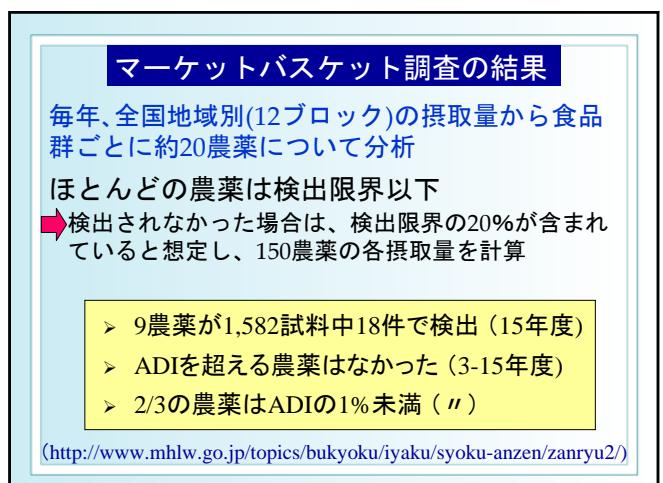
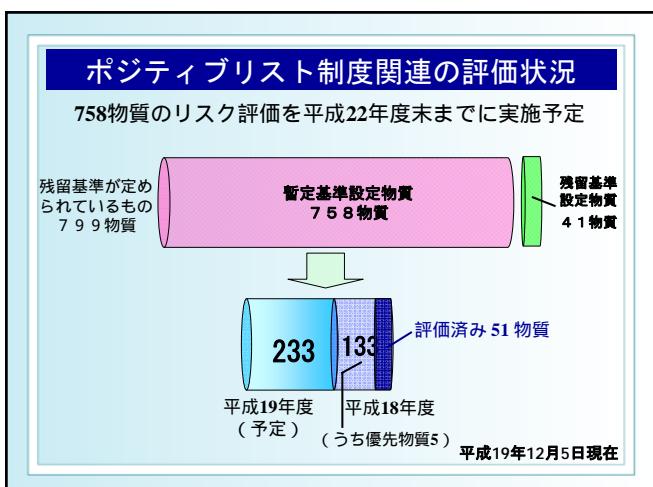
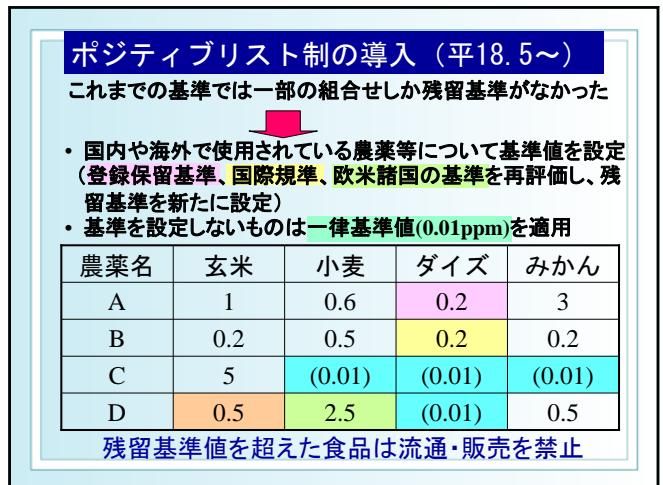
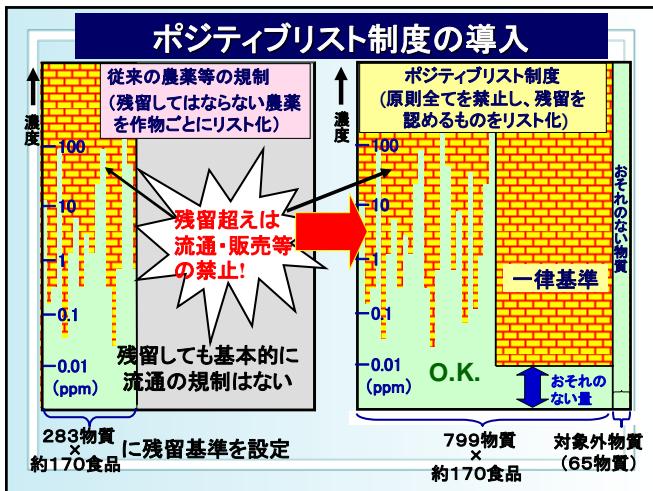
病害虫防除に用いる天敵

- ・テントウムシ
- ・寄生バチ
- ・昆虫ウイルス など

植物の成長調整に利用する薬剤

- ・着果促進剤
- ・無種子果剤
- ・発根促進剤 など

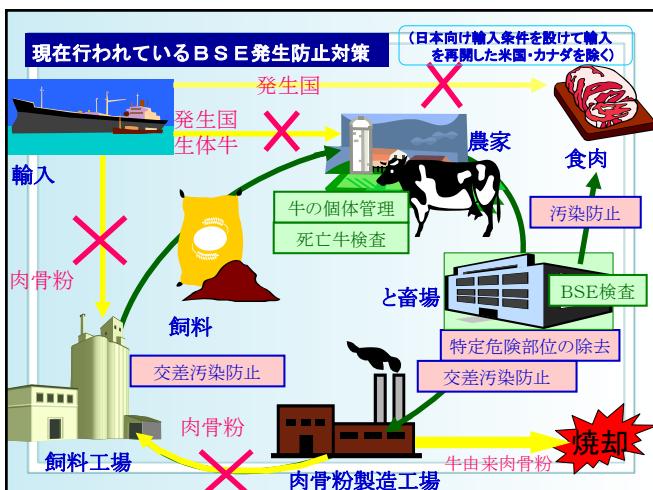




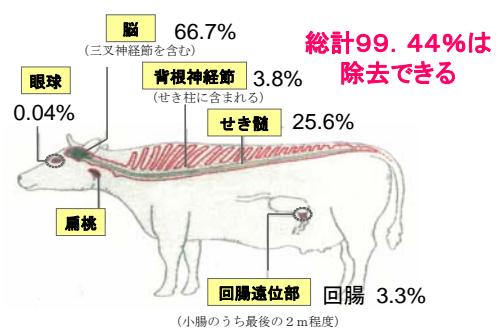


これまで実施されている管理対策（国内）

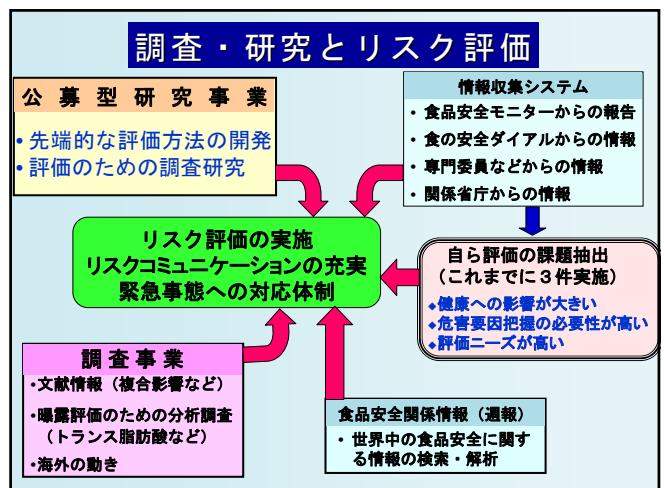
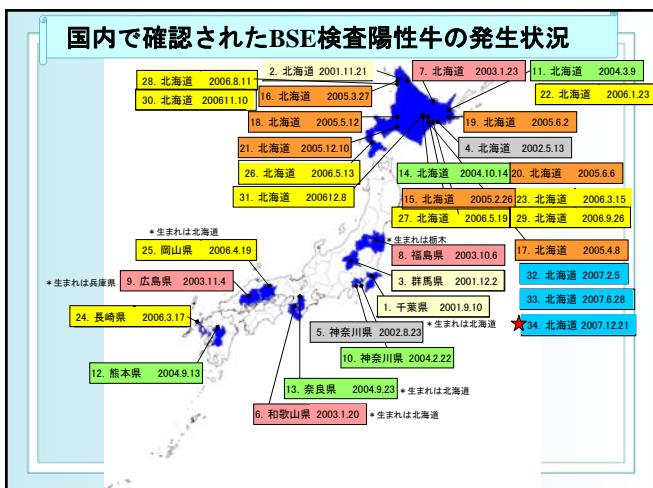
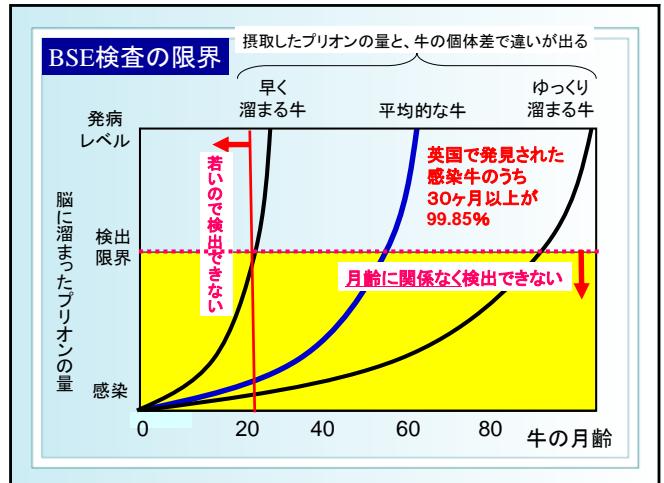
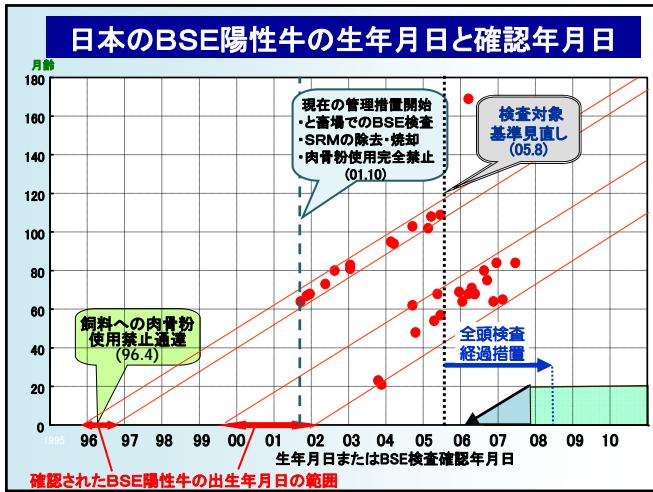
- ① 完全飼料規制(平13.10~)
- ② 特定危険部位(SRM)の除去、交差汚染防止の徹底
- ③ 全月齢の牛をBSE検査の対象とする
(平13.10~)
➡(平17.5の食品安全委員会の評価)
検出限界未満(20ヶ月齢以下)の牛を検査対象から除外しても、リスクは非常に低いレベル増加するだけ
➡検査対象月齢を21ヶ月以上に変更
(平17.8~)
→自治体の自主検査を補助(~平20.7)



BSE発症牛体内の感染力値の分布



脳に2/3(8/12), 脊髄に1/4(3/12), その他の臓器1/12
出典：欧州委員会科学運営委員会(1999年12月)
「食物を介したBSEのヒトへの暴露リスクに関する科学運営委員会の意見」



これまでの自ら評価

- 日本における牛海绵状脑膜症（BSE）対策について-中間とりまとめ-
- 食中毒原因微生物のリスク評価
- 我が国に輸入される牛肉等に係る食品安全影響評価

みんなのぎもん？

- ①食品安全委員会は何をしているの？
- ②食品安全のための新しい考え方って？
- ③添加物や農薬は、毎日とれば、いつかは障害がでるはずだ！
- ④管理機関から言わわれないと評価しないの？
- ⑤危険な情報ばかりで、どれを信じて良いのか・・・

リスクとつきあう

- 食品を含めどんなものにもリスクがある
- リスクのとらえ方は人によって差がある
何がガンの原因となると思うか？

43.5%

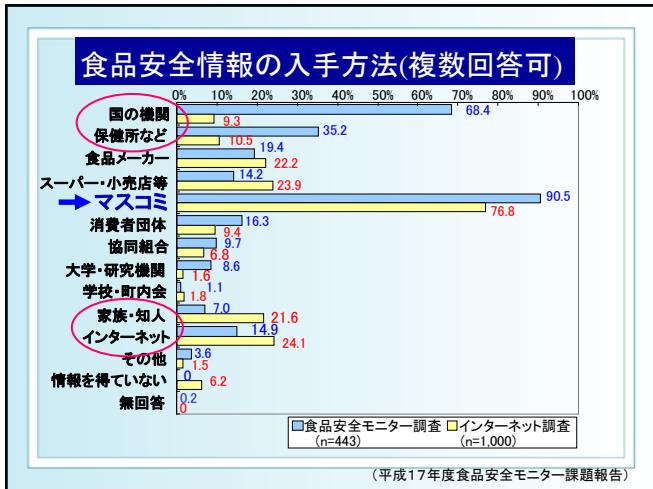
リスク要因	主婦	疫学専門家
食品添加物	24	1
農薬	11.5	30
タバコ	2	35
大気汚染・公害	4	10
おこげ	1	7
ウイルス	1	4
ふきぬたべもの		3
性生活・出産		3
放射線・紫外線		1
職業		1
アルコール		1
医薬品		1
工業生産物		1

（暮らしの手帖25号(1990)）

リスクとつきあう

- 食品を含めどんなものにもリスクがある
- リスクのとらえ方は人によって差がある
- リスクを知り、妥当な判断をするためには努力が必要

➤ 科学知識を身につける努力
一般的科学用語がわかる < 科学用語を正しく使える
< 分析的思考ができる



リスクとつきあう

- ・ 食品を含めどんなものにもリスクがある
- ・ リスクのとらえ方は人によって差がある
- ・ リスクを知り、妥当な判断をするためには努力が必要
 - 科学知識を身につける努力
 - メディアの情報の正確性を見分ける努力
事実と意見、編集の有無、キャスターのイメージ等
 - 情報を批判的に読み取る努力
あらゆる情報を一度批判的に考える



食品安全委員会の役割

2. リスクコミュニケーションの実施

食品安全におけるリスクコミュニケーション

どのような評価／管理を行うかを決定する時に
関係者間で情報を共有し、意見を交換すること

↓

リスク分析に活かしていく

食品安全委員会
厚生労働省
農林水産省

消費者
生産者
製造・加工業者
流通・小売業者
科学者

さまざまなリスクコミの取組 - 1

- 委員会・調査会の公開（傍聴・議事録公開）
- 意見交換会（テーマを絞った講演と討論）等

食品安全委員会
リスクコミュニケーション専門調査会
第28回会合議事録

- 評価結果等についての意見・情報の募集
- 食品安全モニター（全国の470名に依頼）

さまざまなリスクコミの取組 - 2

- 食品安全委員会e-マガジン
- 食の安全ダイヤル
- 季刊誌などの発行

「食の安全ダイヤル」
TEL 03-5251-9220-9221
月曜～金曜（祝祭日・年末年始を除く）
10:00～17:00

制作 DVD

- 地域の指導者・リスクコミュニケーション各育成講座
- リスク評価などのDVD作成と配布
- ホームページからのプレスリリース、情報提供など
- マスコミや関係者との懇談会

みんなのぎもん？

①食品安全委員会は何をしているの？
②食品安全のための新しい考え方って？
③添加物や農薬は、毎日とれば、いつかは障害がでるはずだ！
④管理機関から言われないと評価しないの？
⑤危険な情報ばかりで、どれを信じて良いのか…
⑥リスクコミュニケーションって何？
⑦事件が起きた時の準備はあるのか？

